

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

2件(O157)の報告があり、今年の累計は6件となりました。例年、気温が高い5月から10月ごろにかけて多発する傾向にあります。

腸管出血性大腸菌は、感染力が強く、わずかに数十個でも感染すると考えられています。予防のため、食品を十分加熱し、手洗いを徹底しましょう。

2. ヘルパンギーナ

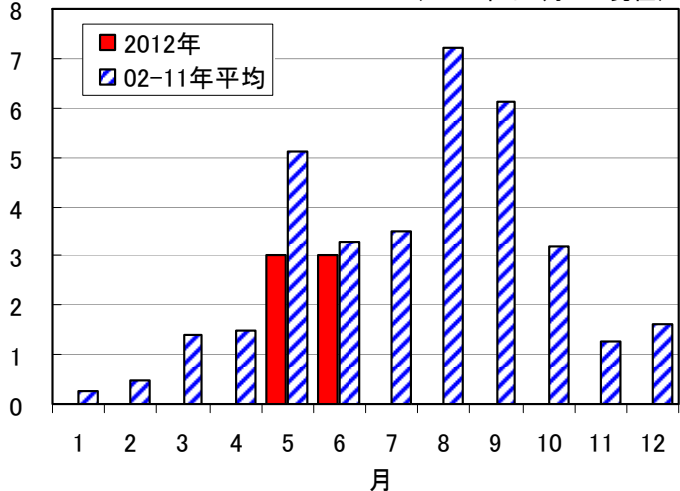
定点当たり1.21人と、先週と比べ減少しました。しかし、今後再び増加する可能性もありますので、引き続き手洗いを励行するなど、感染予防を心がけましょう。

3. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は11件(エイズ患者4件、HIV感染者7件)となりました。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数

(2012年は7月1日現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.01		ヘルパンギーナ	29	1.21	2.55	
咽頭結膜熱	7	0.29	0.49		流行性耳下腺炎	8	0.33	0.60	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	33	1.38	1.51		RSウイルス感染症	2	0.08	0.06	
感染性胃腸炎	120	5.00	3.81		急性出血性結膜炎	1	0.13	0.05	
水痘	20	0.83	1.44		流行性角結膜炎	5	0.63	1.08	
手足口病	4	0.17	3.78		細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
伝染性紅斑	4	0.17	0.43		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	
突発性発しん	10	0.42	0.84		マイコプラズマ肺炎	5	0.71	0.46	
百日咳	1	0.04	0.11		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	174	女性(10歳代)・1人、男性(40歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・2人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	6	女性(40歳代)・O157、男性(80歳代)・O157
5	後天性免疫不全症候群	1	11	男性(30歳代)・感染者
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	女性(30歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第22週	－	17	55	185	49	5	5	13	8	18	7	4	－	9	－	－	5	－
		第23週	－	16	39	148	42	－	6	6	6	23	5	3	－	6	－	－	1	－
		第24週	2	8	49	146	47	－	2	15	1	26	5	3	－	6	－	－	5	－
		第25週	1	5	34	148	21	5	2	15	6	45	14	4	－	5	1	－	4	－
		第26週	－	7	33	120	20	4	4	10	1	29	8	2	1	5	－	1	5	－
定点当り	広島市	第22週	－	0.71	2.29	7.71	2.04	0.21	0.21	0.54	0.33	0.75	0.29	0.17	－	1.13	－	－	0.71	－
		第23週	－	0.67	1.63	6.17	1.75	－	0.25	0.25	0.25	0.96	0.21	0.13	－	0.75	－	－	0.14	－
		第24週	0.05	0.33	2.04	6.08	1.96	－	0.08	0.63	0.04	1.08	0.21	0.13	－	0.75	－	－	0.71	－
		第25週	0.03	0.21	1.42	6.17	0.88	0.21	0.08	0.63	0.25	1.88	0.58	0.17	－	0.63	0.14	－	0.57	－
		第26週	－	0.29	1.38	5.00	0.83	0.17	0.17	0.42	0.04	1.21	0.33	0.08	0.13	0.63	－	0.14	0.71	－
	全国	第24週	0.17	0.56	2.63	7.37	1.41	0.35	0.17	0.67	0.04	0.88	0.49	0.10	0.01	0.56	0.02	0.03	0.82	0.03
		第25週	0.15	0.54	2.34	6.42	1.29	0.47	0.20	0.67	0.03	1.43	0.54	0.11	0.02	0.54	0.01	0.04	0.90	0.02

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
百日咳	発熱(38.7) 上気道炎	0	男	2012/05/13	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	2	女	2012/04/30	糞便	アデノウイルス1型
感染性胃腸炎	発熱(37.5) 嘔吐 下痢 腹痛	4	男	2012/05/24	糞便	ノロウイルスG2群
その他の呼吸器疾患	発熱(39.7) 上気道炎	2	男	2012/05/22	鼻汁(拭い液)	パラインフルエンザウイルス3型
その他の呼吸器疾患	肺炎 熱性痙攣	1	女	2012/04/30	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス アデノウイルス2型
その他の呼吸器疾患	肺炎	0	男	2012/05/10	鼻汁(拭い液)	ヒトボカウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.2) 気管支炎	0	男	2012/05/14	鼻汁(拭い液)	ヒトボカウイルス
その他の疾患	発熱(40.0) 熱性痙攣	0	男	2012/05/22	髄液 鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス ヒトヘルペスウイルス6型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】A型肝炎ウイルス遺伝子解析

2012年に広島市衛生研究所に検体搬入されたA型肝炎7例について遺伝子解析を行った。

No.	報告月日	遺伝子型	備考
1	2月17日	1A	2と配列が同じ
2	4月3日	1A	1と配列が同じ
3	4月6日	1A	
4	4月6日	1A	
5	4月27日	1A	6と配列が同じ(6と夫婦)
6	6月13日	1A	5と配列が同じ(5と夫婦)
7	6月18日	1A	

塩基配列の一部(559塩基)を解析した結果、2月に報告があった1例(No.1)と4月に報告があった1例(No.2)および4月に報告があった1例(No.5)と6月に報告があった1例(No.6)の塩基配列がそれぞれ同じであった。しかし、その他の例でも1～3塩基の違いしか見られなかった。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2012年第26週(6月25日～7月1日)